

全国自己推薦入学試験とは？

個人の優れた資質と活動実績のある者を幅広く日本国内および世界より求めています。

出身学校(長)からの推薦書を必要とせず、高等学校または中等教育学校後期課程在学中のさまざまな活動歴をもとに、受験生の皆さんが「自分自身を社会科学部に推薦する」入試制度です。

全国で初めて(1989年)、社会科学部が、受験生の「個性」を評価するために創設しました。それとともに、「地域性」を重視し、日本全国を7つの地域ブロックに分け、各ブロックから5名程度の合格者を出すことを目標にしています。

“個性”と“地域性”を二本柱とする「全国自己推薦入学試験」へ、積極的にチャレンジしてください。

確かな学力

広く深い社会への知的な
関心・想像力・探究心、
論理的思考力、それらを
支える確かな言語・数量・
情報の知識と技能

実践力

課外活動の経験による
自己管理、自己修正、
チームワーク、困難な課題に
立ち向かう勇気、
やり遂げる力

豊かな人間性

自己内で対話する力、
忍耐力、道徳、他者との
共感的理解、多様性や新しい
考えに開かれた態度、
自立的活動力

Interview

高校ではどのような活動をしていましたか？

私は中学時代から興味・関心と学びに隔たりを設けず、学内外でさまざまな経験を重ねてきました。例えば学内では、生徒会会長や運動会チーフ、文化祭の企業コラボレーション企画等、多くの場面で仲間を率いる役割を果たしました。一方、学外では志を達成するために実施したクラウドファンディングを二度成功させ、「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」を利用して海外での学習を実現しました。また、自らの留学体験を周囲に発信する活動に熱心に取り組み、地元福岡県を越えたとのつながりが次々に生まれました。その結果、プログラムの「留学成果報告会」では、大学生に混じって文部科学大臣らの前で成果発表を行う機会を得ました。

また、カナダへの留学をきっかけに国際関係や環境問題に関心を持ち、探究活動を行いました。母校がSGH(スーパーグローバルハイスクール)に認定されたことから、校内の友人と「高校生国際シンポジウム」に参加したり、「全国高校生未来会議」でつながった仲間と学生団体で活動したりと熱心に取り組みました。

いまでもそうですが、高校時代のさまざまな活動の原動力は、例えば「海外へ行きたい」という目標を掲げ、それをかなえようとする強い思いだったと振り返っています。

社会科学部を志望し、「全国自己推薦入試」で受験しようとしたのはなぜですか？

私が早稲田大学の社会科学部を志望した理由は二つあります。

第一に、早稲田の社会科学部にはさまざまな分野の専門家がいらっしゃることで、幅広い社会科学の学問領域を網羅しながら学際性と専門性の両立を図ることができると思ったからです。具体的には、社会科学部では複数の学問分野のつながりを意識した履修が可能のため、自分の関心を狭めることなく学びを獲得できると考えました。

第二に、「全国自己推薦入試」独自の個性を重

視する選抜方式なら、私の高校時代の特異な経験、その中で育んだ私らしさを存分に発揮できると考えたからです。また、一般選抜と異なり、自分が大学で「何を学びたいか？何を成し遂げたいか？」といった思いや将来像を直接伝えることができるというメリットもあります。このように、「+α(プラスアルファ)の個性」という自分の強みを活かせる、画期的な入学試験に関心を持って受験を決めました。

実際に社会科学部に入学してみて、どう感じていますか？

社会科学部に入学して、高校までの学習と比べて自分の興味のままに「好きなことを好きなだけ」学べる環境が整っていると感じています。社会科学部では履修計画を比較的自由に組めるため、私は必修科目を2年までにすべて履修し、専門分野の研究に全力で取り組むことができています。

一方、日々の学習や大学入学後から始めた一人暮らしの生活ではさまざまな場面で自律が求められ、自分の選択に責任が伴うようになりました。つらさを感じるときもありますが、学部や同郷の仲間の存在にいつも支えられています。私の住む学生寮には地方出身の学生も多く、大学での新たな出会いは私にとってかけがえのないものになっています。

現在、力を入れて取り組んでいることはなんですか？

現在、私はマーケティング管理研究ゼミナールに所属し、モノが売れる仕組みや販売戦略についての研究を進めています。1年生の時に「プロフェッショナルズ・ワークショップ」に参加したことをきっかけに、店舗に並ぶ製品の裏側にある戦略に興味を持ちました。特に3年生からは企業の役員に向けたプレゼンテーションを行うなどより実践的なゼミナール活動が始まるため、これまでに培った知識と経験を活かしたいと思っています。

また、春休み期間には企業でのインターンシップに参加しました。今後は卒業後のキャリアを見据え、自分の持つスキルで社会にどのような貢献ができるかを考えていきたいです。

高校時代から興味のある国際協力では、「全国高校生未来会議」で知り合った仲間と共に、着物を通して世界中に平和の願いを届ける「KIMONO PROJECT」に参画。207の国と地域が誇りとしている自然や文化、歴史などを描いた着物・帯を身に付けるファッションショーが開催され、私もモデルとして参加しました。

将来の目標は？

将来は、これまでに培ったマーケティングや統計の知識、語学を活かして何らかの形で日本と世界をつなぐ外交官のような役割を果たしたいと思っています。特に、コロナ禍において新たに生まれた生活様式のもとでは、従来の常識にとらわれない柔軟性と自分自身の変化・適応が求められています。このような現在の環境でこそ、私は世界とのつながりを強固にすることで日本の発展に貢献したいと考えています。具体的には、国境を越えて人々に愛される日本のコンテンツ産業を拡大し、日本発の「世界一」をもっと多く生み出したいと思っています。

これからの受験生に向けて、メッセージをお願いします！

高校生の皆さんにとって大学選びは大きなターニングポイントですね。大きな決断だからこそ、大学で何ができるかというのを考えてから進学することをお勧めします。皆さんは、なぜ社会科学部で学びたいと思いますか？また、なぜ今でなければいけないと考えますか？このように、将来の選択や思考について自らに問いかけることは、掲げる目標を達成するためにきつと役立ちます。その一歩となる大学入試を入り口として、皆さんと一緒に未来をつくっていくことが楽しみです。早稲田大学でお待ちしています！

2019年度入学

鎌田 あみ さん

Kamata Ami
福岡県・中村学園女子高等学校 卒業



以下の1～4の「すべて」に該当する者

- 2021年3月に高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者、または2022年3月に卒業見込の者。
- 2021年3月に卒業した者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における全体の評定平均値が4.0以上の者、2022年3月に卒業見込の者は、1年1学期または前期から、3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。
※新型コロナウイルス感染拡大の影響による休校措置等の事情により、出願資格に定める期間の評定平均値を算出することが困難な場合に限り、その期間を除いた評定平均値での代用を認める。また、その場合は調査書の備考欄にその期間および状況を記入すること。
- 2021年3月に卒業した者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における調査書記載の欠席日数が45日(4年制定時制は60日)以内の者、2022年3月に卒業見込の者は、1年1学期または前期から、3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの調査書記載の欠席日数が45日(4年制定時制は60日)以内の者。
- 高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間の活動において、次の一つ以上に該当する者。ただし資格に関してのみ、高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間以前に取得したものによる出願も受け付ける。
■学芸系もしくはスポーツ系クラブに所属し、都道府県以上の大会・コンクール・展覧会等において優秀な成績を収めた者。
■生徒会活動において、めざましい活躍をした者。
■資格(語学検定や、財務・会計資格など)を有する者。
■その他、学校外での諸活動(クラブ活動・ボランティア活動等)において、めざましい活躍をした者。

※新型コロナウイルス影響拡大により大会等が開催されていない場合でも、大会等に出場予定あるいは出場見込みがあったことを示す客観的根拠があれば出願資格ありとみなす。詳細は入試要項を確認のこと。

▶ 早稲田大学 社会科学部 Webサイト <https://www.waseda.jp/fsss/sss/>

* 下記のスケジュールは変更になる可能性があります。
最新情報は入試要項および社会科学部Webサイトを必ず都度ご確認ください。

入試スケジュール

7月 下旬	入試要項公開 (予定)	学部Webサイト (左ページ下) で入試要項の公開を予定しています。出願書類の作成、活動記録の裏付けとなる資料の収集等には時間がかかるので、余裕を持って早めに入手してください。
9月24日(金) } 9月30日(木)	出 願 (郵送による受付)	入試要項にしたがって出願書類を作成し、郵送で提出します。 第一次選考(書類選考)の検定料は10,000円(第二次選考の検定料は25,000円)です。以下の諸点を考慮のうえ、選考します。 ●成績評価 ●活動記録(大会記録・生徒会活動・学校外での諸活動・資格など) ●出席状況 ●その他
11月12日(金)	第一次選考合格者発表	郵送および入学センターWebサイト(下記)で発表します。
11月21日(日)	第二次選考(試験選考)	早稲田キャンパスで行います。 小論文 + 面接
12月10日(金)	第二次選考合格者発表	郵送および入学センターWebサイト(下記)で発表します。
12月13日(月)～ 12月20日(月)	入学手続(一次)	登録料(入学金相当額)および学費等を振り込むことで完了します。 ※3月中旬に二次手続があります。

▶ 早稲田大学 入学センター Webサイト <https://www.waseda.jp/inst/admission/>

出 願 資 格